

対 談：阿部孝夫 川崎市長・御手洗富士夫 キヤノン株式会社 社長

- 御手洗 それはいいですね。成田空港とのアクセス、国内線への乗り換えがこんな不便な国はありません。名古屋のセントレア空港のように国際線と国内線が同じ敷地にある、あれが理想ですね。
- 阿部 しかも成田から都心に入るのが混む。羽田を中心にして、もう少し便利な高速交通網が欲しいと思いますね。
- 御手洗 ぜひお願いします。今でも羽田へのアクセスは決して便利ではありません。先進国の首都圏の空港としてはかなり見劣りがするのではないのでしょうか。

(技術者と研究者のまち「名匠」育てる環境へ)

—ものづくりの技術を伝承する人材の育成と活用のテーマでは。

- 阿部 川崎市はやはり技術者と研究者のまちですね。従業者数全体での研究開発従事者の比率が、他都市と比べて非常に高いまちということです。子供たちも「ものづくりのまち」ということを知っていますが、さらに科学に関心を持ちながら成長する子供たちを育てたい。また、ここに住んで活動していると、色々なアイデアが湧いてくるようなまちづくりを進めたいですね。
- 御手洗 それは非常にいいことです。現在の問題の一つは、技術系の社員、学生が減っていること。それから技能が非常に落ちてきている。今一度、技術と技能を基礎から向上させる仕組みが必要です。キヤノンでは、技能の優れている人を「スーパーマイスター」「名匠」として処遇する制度があります。川崎市でもそれらの専門家を養成する機関があると、産業インフラを支えるのに役立つでしょう。
- 阿部 「かわさきマイスター」といまして、特定の技術分野で最高水準の人をマイスターに毎年認定しています。

- 御手洗 いくら近代化しても人間の技術に頼る部分が必ずあり、その伝承がうまくいかないと良いものづくりはできません。また、日本の特許はアプリケーション（応用）特許が多い。原理原則の特許は米国が世界の7割ぐらいを握っている。日本の産業を力強いものに組み立て直すには、基礎科学、基礎技術の基盤を見直し、強化すべきだと思います。

(安心・安全な社会をつくる 働く人に快適な暮らしを)
—働く人にとって安心・安全に暮らせる社会づくりについて。

- 阿部 川崎は若い都市で、独身者も比較的多い。政令指定都市の中では、人口当たりの出生率が一番高い、子どもがたくさん生まれる都市でもあります。若い家族が安心して仕事が出来、日常生活が楽しめるようなまちづくりが必要になります。
- 御手洗 キヤノンでも育児に絡めた短時間勤務や休業制度などの少子化対策はやっています。ただ保育所などは不慣れで、組織やノウハウのある行政と連携して施設の充実など、進められたら良いと思います。
- 阿部 魅力あるまちづくりとして、「ミュージアム川崎シンフォニーホール」を中心とした音楽のまちづくり。それに企業の有力なスポーツチームが多いことを生かして、地域との結びつきを深める「ホームタウンスポーツ推進パートナー制度」などを進めています。こうした川崎の魅力づくりと、働く人の活性化につながる様々な施策に取り組んでいますので、今後ともよろしくをお願いします。

(この対談は日本経済新聞3月29日朝刊広告特集に掲載されたものを転載したものです。)

■川崎市空き店舗活用創業支援事業補助金を活用した「あおぞら整骨院」の紹介です。



平成18年の2月下旬に、中原区サライ通り商店会(会長 鈴木照明氏)の中に、「あおぞら整骨院」がオープンしました。この整骨院は、商業観光課の“空き店舗活用創業支援事業補助金”を活用しました。

院長である川畑美千代さんは、二度の育児休業を含む、都内のスポーツクラブでの15年間の勤務経験の中で、リハビリテーションの大切さを痛感して、独立開業ができる柔道整復師の資格を取得しました。当時は病院勤務をしていましたが、17年6月に、川崎市男女共同参画センター主催の“女性起業家入門セミナー”に出席して、講師や他の参加者から独立する事を勧めてもらい、商店街での開業に踏み切りました。

「車椅子、ベビーカー連れの方でも、利用しやすいようにバリアフリーの整骨院を開業しました。育児中の女性の方々に多く使用していただきたいという思いから、ボディケア診療(自費診療・予約制)として“出産後のリハビリ体操”、“コンディショニングストレッチ”を取り入れています。施術内容としては、電気、超音波、加圧療法、手技マッサージ等がありますが、その中でウォーターベッドは、特に好評で多くの方が試されています。

開業前は不安もありましたが、治療後、お客様が笑顔で帰られる姿を見られることが、大きな喜びで、朝が来るのが楽しくてたまりません。受付を手伝ってくれる7名のマ

マさん仲間達にも恵まれました。また、商店会の方からのご紹介もあり、楽しく営業しています。客層は、女性が多いかと思いましたが、若い男性の利用もあります。今後、ホームページの作成を行って、情報発信にも努めていきたいです。」とのことでした。

商店会の方の方々と交流を通して、地元に着目した店舗を目指している川畑さんの活躍に、大いに期待が持てそうです。

“空き店舗活用創業支援事業補助金”……市内商店街の空き店舗を使って、創業する方に店舗賃借料、店舗改装費の一部を助成する制度。17年度は、3名の女性の方(川畑さんを含む。)がこの制度を活用して、店舗を開業しました。

【店舗情報】

住 所：
川崎市中原区今井南町
428-5
(武蔵小杉駅南口より徒歩5分)
電 話：
044-733-5511
営業時間：
(午前)9:00~12:00
(午後)15:00~18:00
定 休 日：日曜・祝日
(水曜・土曜の午後については、予約制)

